

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当所の運営につきましては、日ごろから深い御理解と御支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、先日は御多忙のところ、当所で御講義いただき、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

飯田先生、香村先生、岩寄先生のお話を拝聴し、参加者全員、自分の今までの生き方を反省し、振り返ることができたようです。今回の講義のテーマであった、「勇気」と「男気」は、まさしく彼らにとって最重要課題であり、真実の「勇気」と「男気」無しでは、社会復帰も困難であろうと思われれます。当日、先生方のお話しを拝聴した、受刑者たちの感想文を同封させていただきます。

今後とも、何卒よろしく御支援を賜りますようお願い申し上げます。

まずは、寸書をもって御礼申し上げます。

謹言

平成22年4月26日

飯 田 和 代 様

横浜刑務所分類教育部長 田 代 正 義

受講生 M 30歳

今回の教育を受けて一番感じたことは、飲酒運転がどれだけ悪い事か、自分がとってきた行動がどれだけ大変な事故に繋がることか、改めて考えました。そして先生がおっしゃっていた、「勇気を持って行動してほしい。」という言葉聞いて、これからは自分も車の運転がある時は、誰に酒を勧められても断る勇気を持つと思う。自分の周りの人間が飲酒運転をしようとしたら、止められる勇気を持つと思う。飲酒運転だけはもう二度としません。今回この教育を受けて本当に良かったと思います。

受講生 S 49歳

「インターロック」のことや各地で活動されていることなど、とても興味深く参考になりました。先生方のお話を聞いて、今まで何度も飲酒運転をやってきた私は、部屋に帰ってから深く考えてしまいました。本当に飲酒運転だけは絶対にやめようと決意しました。今回、先生方のお話を聞くことができとても良かったです。

受講生 K 39歳

今までの授業の中で、今回の授業が一番アルコールについて考えさせられました。とにかく出所したら、酒を飲んだら絶対に車の運転はしないと固く心に誓いました。被害者の方の身内になって考えてみると、もうとてもじゃないけど、飲んで運転なんかできません。

受講生 Y 40歳

自分の周りには、自分も含め飲酒運転をする人間が普通にいました。現場の仕事が終わったら、居酒屋で一杯飲んで車に乗って帰っていました。先生方の話を聞いて、私は顔を上げることが出来ませんでした。たまたま被害者がいなかっただけでもうすでに加害者でした。今回聞いた元気君の話は一生忘れません。小さな勇気しか私にはありませんが、それでも飲んだら絶対乗りません。